



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月1日

上場会社名 東邦ホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8129 URL <http://www.tohohd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 濱田 矩男
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 荻野 守 (TEL) 03-4330-3735
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	862,368	3.0	10,645	39.5	13,051	23.8	7,852	17.2
24年3月期第3四半期	837,391	4.7	7,631	17.3	10,538	12.2	6,698	18.6

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 8,567百万円(28.9%) 24年3月期第3四半期6,646百万円(△31.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	107 58	— —
24年3月期第3四半期	87 72	— —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	563,799	124,200	22.0
24年3月期	536,440	121,594	22.7

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 124,200百万円 24年3月期 121,594百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	8 00	—	8 00	16 00
25年3月期	—	8 00	—		
25年3月期(予想)				8 00	16 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,140,000	2.9	15,700	11.6	18,400	3.8	10,400	△3.4	143 65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 — 社 (—)、除外 — 社 (—)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、四半期決算短信(添付資料)4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	78,270,142株	24年3月期	78,270,142株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	7,690,341株	24年3月期	4,618,030株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	72,993,754株	24年3月期3Q	76,366,738株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

1株当たり予想当期純利益は、自己株式の取得を含めて算出しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) セグメント情報等	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における医療用医薬品市場は、前年同期比2.3%（クレコンリサーチ&コンサルティング株式会社推計）の伸長となったのに対し、当社医薬品卸売事業においては顧客支援システムを基軸とする提案型営業と医薬品の販売との「両立の戦略」を展開することにより、市場平均以上の伸長をすることができました。

また、高齢化による医療ニーズの変化に応じて医療と介護の連携強化が必要とされる中、在宅支援環境の整備・拡充が重要視されています。在宅医療を推進する関係者からは、医療提供施設へ毛細血管型の配送網を持つ当社に対して、医療材料のスムーズな流通システムの構築を望む声が多数寄せられており、平成24年12月1日から全国規模で医療材料を必要な時に必要な分だけを届ける「医療材料の分割販売」も開始いたしました。

このような状況において、当第3四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高862,368百万円（前年同期比3.0%増）、営業利益10,645百万円（前年同期比39.5%増）、経常利益13,051百万円（前年同期比23.8%増）、四半期純利益7,852百万円（前年同期比17.2%増）となりました。

セグメントの業績の概略は以下のとおりです。

医薬品卸売事業では、従来から競争優位として取り組んでおります独自の顧客支援システムに、新たなサービスメニューを開発、追加することにより医療機関に高い評価を頂いたことと、市場の拡大が期待される新製品について処方直接結びつくプロモーションの展開により、当第3四半期連結累計期間の売上高は830,561百万円（前年同期比2.8%増）となりました。また、製品個々の価値に応じた価格体系に基づいた適正利益を確保するための価格ロックシステムを厳格に運用し、総価取引・薬価差問題等の是正や未妥結・仮納入などの流通課題の改善にも取り組みました。併せて継続して積極的に取り組んでいるMeissaおよび顧客支援システムによるフィービジネスの成果と経費節減にグループ全社で取り組んだ結果、セグメント利益（営業利益）は7,650百万円（前年同期比92.4%増）となりました。

調剤薬局事業では、新規出店等による順調な拡大はありましたが、新規出店費用と薬剤師採用による経費増により、当第3四半期連結累計期間の売上高は59,913百万円（前年同期比7.1%増）、セグメント利益（営業利益）は3,020百万円（前年同期比9.9%減）となりました。

治験施設支援事業におきましては、当第3四半期連結累計期間の売上高は270百万円（前年同期比46.5%増）、セグメント利益（営業利益）は105百万円となりました。

情報機器販売事業におきましては、当第3四半期連結累計期間の売上高は966百万円（前年同期比2.3%増）、セグメント損失（営業損失）は41百万円となりました。

（注）セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて5.2%増加し、423,581百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が14,505百万円、商品及び製品が11,076百万円、仕入割戻未収入金が1,128百万円それぞれ増加し、現金及び預金が5,550百万円減少したこと等によります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて4.7%増加し、140,218百万円となりました。これは、土地が1,949百万円、建設仮勘定が5,046百万円、投資有価証券が1,210百万円それぞれ増加し、のれんが1,390百万円減少したこと等によります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて5.1%増加し、563,799百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて7.2%増加し、406,113百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が34,707百万円増加し、短期借入金が4,978百万円、賞与引当金が1,743百万円それぞれ減少したこと等によります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて7.3%減少し、33,485百万円となりました。これは、長期借入金が1,069百万円、負ののれんが689百万円それぞれ減少したこと等によります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて6.0%増加し、439,599百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて2.1%増加し、124,200百万円となりました。これは、利益剰余金が6,883百万円、自己株式が4,992百万円、その他有価証券評価差額金が715百万円それぞれ増加したこと等によります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年5月9日発表の平成25年3月期通期連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第 1 四半期連結会計期間より、平成24年 4 月 1 日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第 3 四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ13百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	43,244	37,694
受取手形及び売掛金	266,499	281,004
有価証券	1,087	502
商品及び製品	60,845	71,922
その他	31,618	33,091
貸倒引当金	△763	△633
流動資産合計	402,531	423,581
固定資産		
有形固定資産	61,999	68,818
無形固定資産		
のれん	14,658	13,267
その他	2,966	3,042
無形固定資産合計	17,624	16,310
投資その他の資産		
その他	56,333	57,129
貸倒引当金	△2,047	△2,039
投資その他の資産合計	54,285	55,089
固定資産合計	133,908	140,218
資産合計	536,440	563,799

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	346,414	381,122
短期借入金	15,735	10,756
1年内償還予定の社債	—	20
未払法人税等	3,745	3,397
賞与引当金	3,489	1,745
役員賞与引当金	91	74
返品調整引当金	291	328
その他	8,950	8,667
流動負債合計	378,718	406,113
固定負債		
社債	30	—
長期借入金	13,537	12,468
退職給付引当金	1,985	2,072
資産除去債務	729	746
負ののれん	2,097	1,407
その他	17,748	16,791
固定負債合計	36,127	33,485
負債合計	414,845	439,599
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,649	10,649
資本剰余金	46,144	46,144
利益剰余金	67,536	74,419
自己株式	△4,036	△9,029
株主資本合計	120,293	122,184
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,602	6,317
土地再評価差額金	△4,301	△4,301
その他の包括利益累計額合計	1,300	2,016
純資産合計	121,594	124,200
負債純資産合計	536,440	563,799

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	837,391	862,368
売上原価	767,707	787,169
売上総利益	69,684	75,199
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	33,420	34,774
賞与引当金繰入額	1,632	1,735
役員賞与引当金繰入額	64	74
退職給付引当金繰入額	158	208
福利厚生費	5,260	5,696
車両費	1,145	1,157
貸倒引当金繰入額	△263	△105
減価償却費	2,082	2,138
のれん償却額	1,736	1,805
賃借料	5,340	5,302
租税公課	828	879
その他	10,645	10,886
販売費及び一般管理費合計	62,053	64,554
営業利益	7,631	10,645
営業外収益		
受取利息	109	94
受取配当金	1,008	1,006
受取手数料	2,064	2,142
負ののれん償却額	1,310	689
持分法による投資利益	27	54
その他	879	1,076
営業外収益合計	5,399	5,063
営業外費用		
支払利息	393	297
仮払消費税の未控除損失	1,943	2,105
その他	155	253
営業外費用合計	2,492	2,657
経常利益	10,538	13,051

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
特別利益		
固定資産売却益	69	274
段階取得に係る差益	252	—
投資有価証券償還益	—	258
災害見舞金	245	—
その他	1,785	246
特別利益合計	2,353	779
特別損失		
固定資産処分損	107	132
減損損失	207	—
関係会社株式評価損	228	—
その他	120	35
特別損失合計	664	167
税金等調整前四半期純利益	12,227	13,663
法人税、住民税及び事業税	4,515	5,486
法人税等調整額	1,013	323
法人税等合計	5,528	5,810
少数株主損益調整前四半期純利益	6,698	7,852
四半期純利益	6,698	7,852

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	6,698	7,852
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△192	705
土地再評価差額金	141	—
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	9
その他の包括利益合計	△52	715
四半期包括利益	6,646	8,567
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,646	8,567
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (百万円) (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注2)
	医薬品 卸売事業 (百万円)	調剤薬局 事業 (百万円)	治験施設 支援事業 (百万円)	情報機器 販売事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	780,592	55,922	184	692	837,391	—	837,391
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	27,599	13	—	252	27,865	△27,865	—
計	808,191	55,935	184	944	865,256	△27,865	837,391
セグメント利益又は損失(△)	3,975	3,351	449	△49	7,727	△95	7,631

(注) 1. 調整額は、内部取引の消去と未実現利益の消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (百万円) (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注2)
	医薬品 卸売事業 (百万円)	調剤薬局 事業 (百万円)	治験施設 支援事業 (百万円)	情報機器 販売事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	801,427	59,900	270	769	862,368	—	862,368
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	29,133	13	—	196	29,343	△29,343	—
計	830,561	59,913	270	966	891,712	△29,343	862,368
セグメント利益又は損失(△)	7,650	3,020	105	△41	10,735	△90	10,645

(注) 1. 調整額は、内部取引の消去と未実現利益の消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

該当事項はありません。